

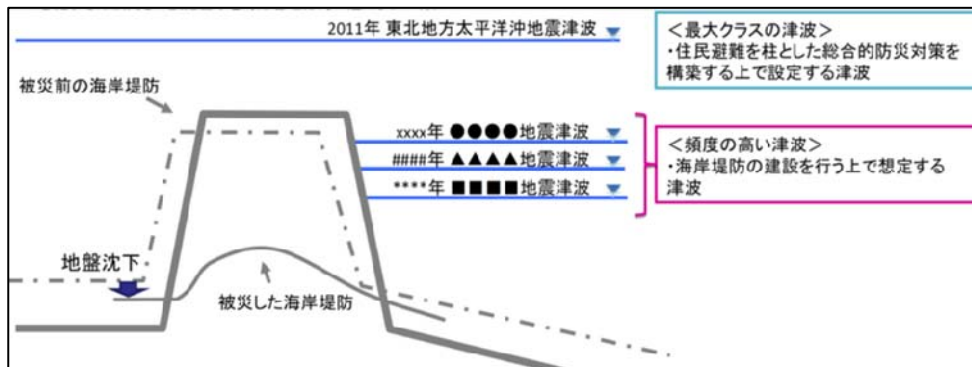
海岸堤防の高さの設定方法

【復旧の整備方針】

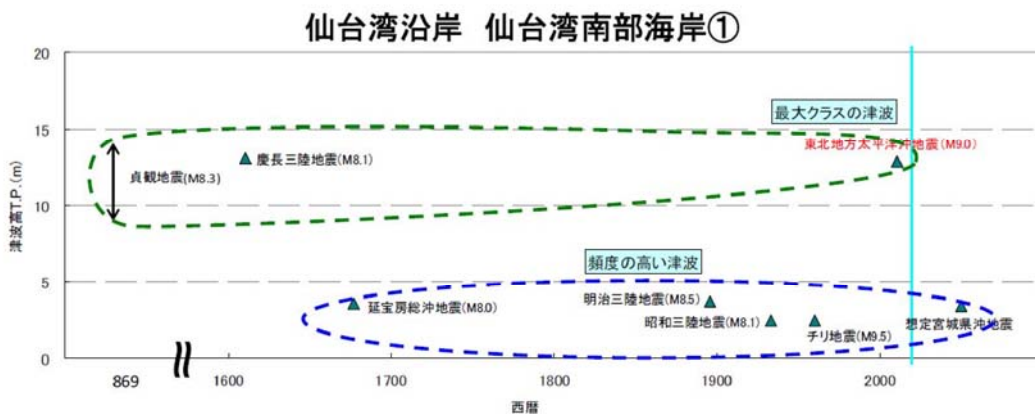
- ・ 海岸堤防の高さや構造などは、学識者、海岸を所管する省庁と岩手・宮城・福島県の関係者による「海岸における津波対策検討委員会」で検討が行われた。
- ・ 復旧する海岸堤防高さ等については、委員会の検討内容を踏まえ、設計津波の水位を決定した。
- ・ この設計津波の水位により、各海岸管理者が統一した考え方・基準に基づき復旧に取り組むことにしている。

【海岸堤防高さの設定】

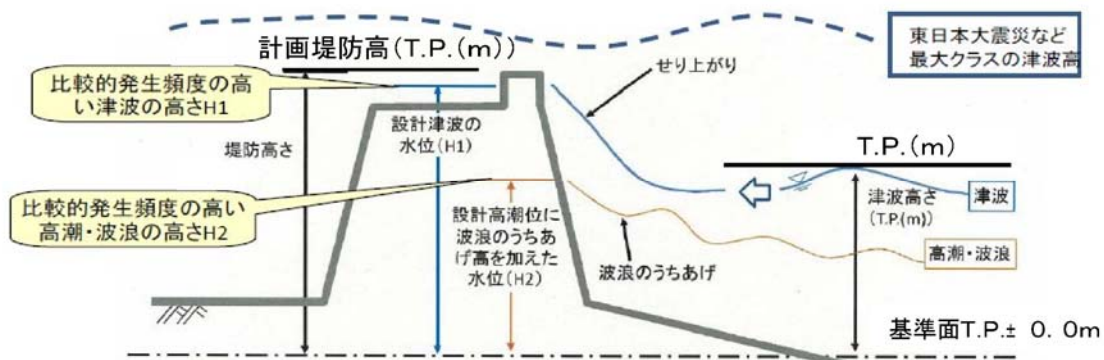
- 1) 設計津波の設定単位沿岸域を「湾の形状や山付け等の自然条件」等から勘案して、一連のまとまりのある海岸線毎に分割している。（宮城県は22地域海岸に分割）
- 2) 設計津波水位の設定
過去に発生した津波の実績津波高さ（痕跡高調査や歴史記録・文献等の活用）を整理し、一定頻度「数十年から百数十年に一度程度」で発生すると想定される津波の集合を選定設定後海岸堤防によるせり上がりを考慮して、設計津波の水位を設定する。（昭和三陸地震、チリ地震 等）
なお、十分なデータが得られない場合は、シミュレーションを実施しデータを補完している。（明治三陸地震、想定宮城県沖地震）
- 3) 海岸堤防の基本計画堤防高（天端高）の設定
津波対策に必要な計画堤防高（天端高）と高潮対策に必要な計画堤防高（天端高）を比較し高い方を基本計画堤防高さとしている。



最大クラスの津波・頻度の高い津波



最大クラスの津波と比較的発生頻度の高い津波（一例）



計画堤防高：設計津波水位と高潮・波浪の高さの高い方+余裕高

海岸堤防の防護水準

単位:m(T.P.)

地域海岸名	代表地震・高潮	代表高	基本計画堤防高		
			起点	終点	高さ
唐桑半島東部	明治三陸地震	11.3	岩手県境	真崎	8.0
			真崎	御崎	11.3
唐桑半島西部①	明治三陸地震	11.2	御崎	大明神崎	11.2
唐桑半島西部②	明治三陸地震	9.9	大明神崎	鶴ヶ浦	9.9
気仙沼湾	明治三陸地震	7.2	鶴ヶ浦	岩井崎	7.2
気仙沼湾奥部	明治三陸地震	5.0	潮見町	港町	5.0
			港町	魚町	5.1
			魚町	大浦	5.0
大島東部	明治三陸地震	11.8	大初平	龍舞崎	11.8
			大初平	浦の浜	7.0
大島西部	明治三陸地震	7.0	浦の浜	田尻	7.5
			田尻	龍舞崎	7.0
			岩井崎	大沢	9.8
小泉湾	明治三陸地震	9.8	大沢	蔵内	14.7
			蔵内	石浜	9.8
志津川湾	想定宮城県沖地震	8.7	石浜	戸倉	8.7
			戸倉	神割崎	7.3
			神割崎	十三浜	6.5
追波湾	明治三陸地震	8.4	十三浜	大須崎	8.4
雄勝湾	明治三陸地震	6.4	大須崎	尾浦	6.4
雄勝湾奥部	明治三陸地震	9.7	明神	雄勝	9.7
			尾浦	崎山	6.6
女川湾	明治三陸地震	6.6	湾口防波堤内		5.4
			崎山	寄磯崎	6.6
			寄磯崎	浜畑	6.9
牡鹿半島東部	明治三陸地震	6.9	浜畑	祝浜	9.1
			祝浜	黒崎	6.9
			黒崎	渡波	6.0
牡鹿半島西部	チリ地震	6.0	祝田	長浜	2.6
万石浦	チリ地震	2.6	長浜	洲崎	7.2
石巻海岸	高潮にて決定	7.2	洲崎	代ヶ崎	4.3
松島湾	チリ地震	4.3	代ヶ崎	吠崎	5.4
七ヶ浜海岸①	明治三陸地震	5.4	吠崎	蒲生	6.8
七ヶ浜海岸②	明治三陸地震	6.8	蒲生	阿武隈川	7.2
仙台湾南部海岸①	高潮にて決定	7.2	阿武隈川	福島県境	7.2
仙台湾南部海岸②	高潮にて決定	7.2	福島県境		

※ 個々の特殊事情がある地区については、十分に安全度(必要高)が確保されていることを確認した上で、必要に応じて上記の基本計画堤防高を下げている場合がある。

